

善照寺だより

第1号 春彼岸

平成22年3月21日 発行



ほうぼう ひとりごと 方丈の独り言



寒い寒いと思っていたらいつの間にか三月になり、椿の蕾が色づいたなと思っていたら、気温の上昇を感じたのか急に花が大きくなったように感じます。春分の日、春の彼岸の中日です。夜と昼の長さが同じ日。この日にご先祖様のことを思い出し、それは自分自身が今日現在このようにして存在しているのは、ご先祖様がいられたからのことだと思つと、亡き両親、祖父母の方々、さらにそれ以前の方々に、感謝しないではいられません。お中日にはお墓に参り、菩提寺にお参りし、家の仏壇に花、線香、灯明、供物をお供えし、金を二回打って鳴らし、静かに合掌し、遠い遠いご先祖様にまで、感謝の心を胸の内で申し上げます。このようにいたしますと、遠いご先祖様も身近に感じられます。そして有難く思われます。お彼岸の中日は国民感謝の日と申しても良いのではないのでしょうか。彼岸はあちらの岸ですが、ご先祖様は彼岸に対して、今現在私たちの住んでいるこちらの岸は苦勞の多い「苦の世界」と考えていたのです。ですから此岸(こちらの世界、即ち苦の多い世界)から、理想的な楽の世界(彼岸)を願ったのです。この「願う」心が極樂の世界、彼岸だと感じるのです。お彼岸を感謝の日といたしましょう。

私ごとですが近頃脳血栓症になり、頭がフラフラしています。目は白内障になっています。耳も遠くなりましたが、命ある限り心の仏様を拝み続けたいと思っています。

名言録

ぜいたくの 三歩手前で 暮らしてる
『大法輪』

生まれたときも一人 帰るときも一人 しっかりしなきゃね
(奥川和子)

喜んで行い そして行ったことを喜べる人は幸福である
(ゲーテ)

子供がちやんと留守番しているかどうか外から電話してみた
母：「もしもしお母さんいる？」 子供：「いない」



BSNテレビ「仏の花道」に住職が出演！！

来る4月2日（金）PM4:00～5:00 放送予定



《近藤アナウンサーと和やかに対談》本堂にて 3月12日

BSNの「金曜パラダイス」という番組が4月からスタートしますが、その記念すべき第一回目の放送に、住職が出演します。ぜひ皆さんでご覧ください。近藤さんの質問に熱心に話していました。寺の歴史や修行僧のこと、建物の説明と、気がついたら一時間があっという間に過ぎてしまいました。しかし放送時間は5分くらいだそうです。残念。カメラマンやディレクターさん、皆さん寒いなかご苦労さまでした。

住職永年勤続50年褒章 受章 【副住職代理出席 3月16日】

住職の代理で東京の宗務所に行ってまいりました。長年住職として善照寺を守ってきた功績が認められ、管長様から表彰され記念品をいただいてまいりました。当日は全国から表彰を受けられる方々が集まり、とても華やかでした。真ん中で緋の衣を着ている方が小野塚幾澄 管長猥下です。



お知らせとご報告

住職が50年褒章を受けたことで、法類（末寺）の皆さんから大僧正にとのご推薦を受けました。今までに何度かお話がありましたが、ご遠慮申し上げておりました。しかし、今回は総代会にご相談し、了解を得て、お受けすることとなりました。6月には本山から辞令が参ります。つきましては、50年褒章と大僧正昇任の祝いを兼ねて、今年の秋頃にはお檀家の皆様にご報告の会を催したく考えております。これから総代さん方と相談申し上げながら、話を進めてまいりたいと思います。何かと皆様にはご協力いただかなければなりません、その節はよろしく願いいたします。